

大阪大学蛋白質研究所 拠点事業 成果報告書記載要領

※成果報告書は、成果の概要と、報告書本体の2段階の構成になっています。

「研究成果の概要」部分（項目(1)～(5)まで、1ページ）は、そのまま拠点ホームページにて公開します。

「成果報告書」部分（項目(6)以降）は非公開とし、拠点内で保管いたします。ただし、文部科学省および当研究所共同利用・共同研究委員会より全体の開示要請があった場合はそれに従いますので、本様式をご提出いただいた時点で、知的財産法上は「公開」扱いとなりますことをご了承下さい。その他、論文発表や拠点外との共同研究において差し支えのある情報は記載しないなど、各自の責任において内容をお考えください。

※成果報告書（様式 1-1） 作成要領

- ・項目(1)～(3)、および(7)については申請時の書類から転記ください。
- ・項目(4)については共同研究員、客員フェローは申請時の書類から転記ください。
超高磁場 NMR、クライオ電顕、MicroED の採択者は以下の受入担当教員を記載してください。
- ・項目(5)については WEB 上で公開されることを念頭に、簡潔・明瞭に記載してください。
- ・項目(1)～(5)を必ず A4 用紙 1 枚に収めてください。
- ・項目(6)については公開版の(5)では記載できなかった成果や、今後の展望などを適宜記載してください。
図、表の使用も可能です。
- ・スペースが不足する場合は、適宜追加の上、記入して下さい。枚数の制限はありませんが、項目(1)～(9)全体で A4 用紙 3 枚程度を目安として下さい。
- ・本様式（ワード）作成の上、必ずワード版で提出してください。（PDF に変換しないでください）
- ・なお、提出の際、ファイル名は、【成果報告書（事業名）：氏名（所属機関名）】として提出いただけますと幸いです。 例【成果報告書（共同研究員）：阪大太郎（大阪大学）】
- ・提出期限：2026 年 5 月 11 日（月）
- ・提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp

※受入担当教員について

- ・超高磁場 NMR 共同利用研究課題（教員名：宮ノ入洋平准教授、研究室名：高磁場 NMR 分光学研究室）
- ・クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題（教員名：加藤貴之教授、研究室名：電子線構造生物学研究室）
- ・MicroED 共同利用研究課題（教員名：栗栖源嗣教授、研究室名：蛋白質結晶学研究室）